街

小雪華。

実じっ

えた。

ま考がし 自いい詳らた す

とる

分類にで

る。もをくすこ際

会なた動きり明め私をが議

ではまっただし、からい、まし、まし、ない。まし、、の験が

たに嬉るか



上が時間 6 矢》 議が

藤

鈴

木

雷

德

野の

(有) 中央:

中2年 議員

藤

議ぎ

八號

中 希 2 蕾

街

小肾

6

東管俸

6 議ぎ 長り 最い

い的質白いりも 意いでち方だ に分がま 貴き見がしんが 夢ぬ 実ら達をし 重きをたと 集り議せ したたが、この まで で かんかい この も 街市 で かままない こと 言えるでは、 て かい こ市いるよとの体が場ばう てた ۲ 7 緊がく いをた験はなも張ったと を表したと直気不らでん 思縁になて接きをあるの すにしる対は大は

伝たよすた切り、えりうる。でみ えりうるであるかられよいた、に、着くれるであるであるが、

し 街を地を感が全だこで市で で 成 域 を 体にと 考察に

いよ行動のにえす

きさ事めい気まるるたちをにて街村こた

い友袋が市りきとめ

で達加かけにまがに

う街たさと下げご加か考が市につりて校すし私をえがこあものことは、

よのり丁で安慰と大意、り経ばが寧に全だが変え初じ

間ながいいづ街はを体でてるく市・今

いら生だたてし皆なので、夢ゅっとだった。 す 街を会かき 貴をいん 囲い議をいた 気を会かる 重なた に 気を会かい は しょう だ 質りを に こうしょ ながい 間も感が会さ

たかはいとを接続

と 校らと で 下を一覧街覧 思覧生は継ばす さ つ 市・私覧 い も 続き。り の の は ま 是ぜさ さ 、 意い代意

ま是せささ、意味がしましまのせらと見た。これであるにてを考りた。

るにてを者績

協意為ないも真しの夢ぬ

力をに街た嬉りが方が議ぎ

し私語ししに々な会か た達なか答がで、発動で、発力を

な高張たてつハヤ

とま真がまや施せのなし剣が市し、策を夢り

てるく市場がの回い

経い問意感が参え

験なをじかを

答

したして、 × 、 、

弁ん直続き

て、



ミフチ **手**ねん

らか会覧りて近議・感覚 頑髪っをできくがを

関業 谷* 街 北意颯響 小学 6 議 年 景 員 以





故でとけしな議ぎ思むへ 郷まに で た 間が会がっ 街を入っ 関がな 。 題がに て の 街を へいといく 榎をが 行いいこ に 街覧を 会い舞はと 街覧どでのをに、 っ住す てん 、し自い出でこ 知いはいざる て 分がた と り 色がいる て の こ だ ま 々が夢なと

張ばた体にきまな始に楽な

来がてい発は緊急自いく

思事年なとま表表のかま時

し議がしが会が張り

験がた

頑がっをで

、 と ま き て

で

しるまし最い たとりん初い で行い

で行い



ことが、いきをことにつなが、はまたないなが、ながないころ、いまないないできることはできることはなったが、対しているが、ながないなが、ないなが、ないなが、ないなが、ないなが、ないないできない。 きの私 たは、 に夢ぬ をのえ 大なな校会が よも活でてりっ動い つ動い変かいや かに参加がき う か 私怨文流 < す 、 案が保電 るるしま

た後で持むこきか通うらさちっの、ら学のたととらがと議と前襲を衝撃 思い、強いする会でで向いの つ良く献をもき安か子で いなし通話安な全が夢り い街りたし心答に議 まいて、まをいれて、まして、まない。



八街 **||**||がわ

ことつ自いきだ子に 活いのがい分がはき夢ぬ今ん か貴きでてが特を議を回か 重き色質にし会な を八きしをせて知りまたすてハき でれ 知り街たす る市がるい街 から

れンた体で夢露年をせたケ。験が議まはて昨で らー議を会び戻りい年ね

の中野せ参なのだ

実っにて 加か議ぎき

L

思動を提びい

い」案がたまがしだ

会がさに際なたは

実がき貴かが参れ現が、ま重れ、加か

重れ

で場ま

きでしトで、行覧たで

なる今でさ

1)

モ

1

濵 八海 ⊞Æ んてく になっ して、ま ٧ L 時じ議ぎ 中,勇。 質がた。を問が会がに 思むな 獅ぃ いるよ ま をに だに、登り過す参え ハャし たりたにの現れて議さ と、。向を取と在ばあ会体を 思れままきり実じる をた い意は、うみになる。 はまれていままます。 時間がは、

過す験がき

らした た。

で して さして

行い北きかせて、

き中島て

献だる



Ш[†] 八で本と ちぐ 2 手り

興き

ф^ъ

黎維

高5捺®

八。田た

北夏雪山 2

街

思乳生は駄だここど民党さい活のとれかせ今後 今回初めて夢識が 今回初めて夢講が ただけ重要なのな まうな貴重なのな ますなりないただき、 できました。 なような貴重なのなる。 ないないないないないないないないない。 かなたのる私院の験が私をと き たの験私をこたにい学をは学をち参えと校無の、ぶが市地か

献ないるで会な

っ取とま 市し皆な

欲ほじ 有ぬさ 回が

し義きて

たぶんすった。 まの生はいでさ街をが、できる中であれば、

ろ他はえ街を今な答

私をしま意いせ

がいっただいて、といったちもしたいただいこというだけでした。ただ「こうだけでした。をがらだけでした。まましたい」というだけではなったができるしたい」というだけではなった。 というだけではない まましたい ままがると思いればます。

い良とでうたとに

い事をりとするしとしできまがるたたて 今をす 学りで答さめ 。も参知の

に議せてくやを経れて会なも会なもさ、よ験がの

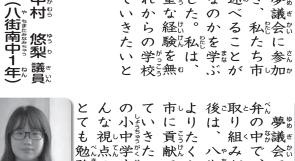
活いています と だ 議 と か 学 と な に く り と た だ ま し ん に く り ま 、 と た な こ 対いす ま

まいいなしとて参え 街きつくて感覚も加か今に

急見が、たちゃ

ij

意いた見るです



中が

(八·枝花

街 高2年 議

あ 大流器い 切きた 街髪り 変心しまれ 。っ八ゃ 変んしまれ が良は合ましる学等子で街景 いいたの校夢鳴高 、がかの議を校覧 経ば 験が参え と加楽を安意表等に代意 でしでと参議。 きく緊急し加かとた真い張ってした。 ま 事を剣だしゃまてはにてりしハッ

思れて 長い議まり な 議ま いく達賞員が体で会で黎な 出でだがとたいいという。 にはない。 をなるという。 せていただき なんだき たいと思い に質いせ 質問まて 疑きし 応ぎた

りた日で長りこが

う思性が、うと大阪を

ざまにだ切がだにし

し本にと経問し改変で私を

た当まて験なをため考証をいてえ自じ今にいを務定。てえ自じ今にある。 がい々でせとると自じ議さととのていこが分気会び い 活然た 大なが 切ら市い通知 いす活いなきとつてまっかた役は、い、

篠め 之。 美 長 長

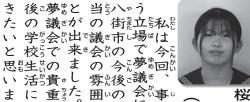
(八街中央中21 議のはら りんか 議員 製花 議



「子っして 子っい しゅうい。 ・校った き 弁がの ハャ貴 **加か ** 生じ。 、を 意い街 **重きさ 夢 ** ** 活っ夢 **と た 見 たっかなせて **



い学が会が出で議ま市い場はは と校っで来き会でので、今ん 思葉生はのまの今で夢ぬ回い活が貴まし、雰光後で議ぎ、 ますた。 重なに 無理が (八街中央中1年) (大街中央中1年) (大街中央中1年) (大街中央中1年) (大街中央中1年) (大田) まに重きた、囲いの会が事



街